

祐善寺だより

第5号

発刊日
2001年8月1日

真宗大谷派 祐善寺 住職/岡崎 賢 福井県丹生郡朝日町上糸生・森 TEL 0778-34-5170 FAX 0778-34-5170



佛が

私を

救うのではない

私を

救うはたらきを

佛という

安田理深

蓮如上人五百回御遠忌 当寺二十世大慶院釈正謙五十回忌

法要厳修のお願いについて

住職 岡崎 賢

慈光の下、御尊家御一同様には愈々御清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、格別の御厚情を賜りまして誠に有り難く、厚く御礼申し上げます。

さて、当寺役員会および門徒総会の御決議を経て、次頁の通り明年五月二十六日に

蓮如上人五百回御遠忌

当寺二十世住職大慶院釈正謙五十回忌

の法要を厳修させていただくはこびとなりました。

蓮如上人は、吉崎に浄土真宗布教の道場を建立して、親鸞聖人があきらかにされた浄土真宗の教えを広められ本願寺中興の祖と崇められる、越前にゆかりの深い上人であられ、また、もともと天台宗

でありました当寺にとりましても、蓮如上人の吉崎行化の際に上人の教化に帰して浄土真宗に改宗したという、大変にかけがえない上人であられます。

二十世住職・釈正謙は、昭和二十八年に食道癌により早逝して以来、御門徒の皆様には大変な御迷惑をおかけ致し、当寺は大変寂しい苦難の時代が続きましたが、今日まで祐善寺の法灯を護持して頂けましたことは、ひとえに御門徒の皆様への法灯護持の御懇念の賜ものと深く感謝申し上げます。

この御遠忌法要厳修にあたりまして、皆様方には、誠に恐縮ではございますが、格別の御懇志・御寄附を賜りたく、ここに御依頼申し上げますので、御高配の程、何卒よろしくお願い申し上げます。合掌
平成十三年八月

蓮如上人五百回御遠忌

大慶院釈正謙五十回忌法要概要決まる!

来春に厳修を予定しております蓮如上人五百回御遠忌・大慶院釈正謙五十回忌法要が、六月十日に開催された第一回御遠忌法要実行委員会でも決まりました。また、実行委員長に島助右工門氏が選出されました。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

法要の概要

1. 期日

平成十四年五月二十六日(日)

2. 法要概要

(午前)

大慶院釈正謙五十回忌法要

記念演奏

マリンバ ミニコンサート

(恩徳讃ほか)

奏者 平岡愛子氏

(午後)

稚児行列

蓮如上人五百回御遠忌法要

記念講演

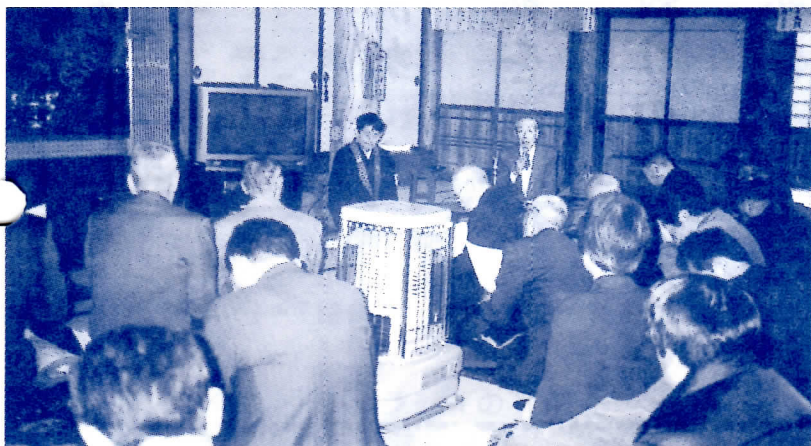
福井医科大学名誉教授

了慶寺住職 藤枝宏壽師

3. 法要記念事業

① 大慶院釈正謙の遺稿集の出版

前住職が生前に研究し発表した論文等を約一〇〇頁の小冊子で出版します。



門徒総会(1月2日)で法要概要案を承認

蓮如上人五百回御遠忌・先代住職五十回忌 法要の実施に向けて

法要実行委員長 島 助右工門

六月十日に開催された法要実行委員会、法要実行委員長に推挙されました。傘寿も近い高齢者ですが、役員就任二十三年間に学んだことを集大成して、勤めさせて頂きたいと存じます。

ご案内のとおり浄土真宗を開かれたのは親鸞聖人、広められたのは蓮如上人です。特に先祖代々北陸に住む私達は、暁鳥敏師がお作りになられた蓮如上人奉讃和讃の中にもありますように、本師親鸞おはすとも、蓮如上人いままさずば、今我々は浄土真宗の教えに合わせて頂くことは無かったことでしょう。祐善寺は泰澄大師が創建された寺で、天台宗でした。いつ頃からか無住寺になっていましたが、文明三年に蓮如上

人が吉崎に来られた頃、今の岡崎家の初代が住持し、蓮如上人の教化により浄土真宗の寺として再スタートし今日に至っています。

また来年は先代住職が昭和二十八年に亡くなられてから四十九年になりますので、上人の五百回のご遠忌と併せて先代住職の五十回忌の法事を行います。先代住職が亡くなられてからの二十数年間は、祐善寺は苦難の時代でした。その間、愚痴もこぼされずにお守り下さった坊守さんのためにも精一杯勤めさせて頂きたいと存じます。どうかご門徒各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

蓮如上人五百回御遠忌・当寺先代住職五十回忌法要予算

予算総額6,000,000円

収入の部

項目	金額	説明
門徒割方	1,300,000	1戸平均2万円×65戸
特別寄付	700,000	
懇志	400,000	参詣者懇志
住職懇志	2,200,000	
一般会計積立金	1,400,000	
計	6,000,000	

支出の部

項目	金額	説明
法要費	3,000,000	法中、助音礼、式事、伽役礼、布教師礼、楽人礼等
記念事業費	2,000,000	先代住職著作集冊子出版 B5版100頁250部 30万円 ミュージックチャイム 50万円 仏具関係修復 内陣関係修復
記念品・諸経費	1,000,000	記念品
計	6,000,000	

② ミュージック・チャイムの設置

当寺境内にミュージック・チャイムを設置して、「恩徳讃」等、真宗讃歌を定時放送することで、近隣地区住民、参詣者等へ真宗讃歌の普及を図ります。

③ 本堂内陣修復

本堂シロアリ被害箇所修復、内陣床板縮直し、内陣壁面金紙張り等を行い後世に伝えます。

4. 門徒衆志のお願い

一戸平均二万円の御墾志をお願いします。

志納期限 大変恐縮ながら平成十四

年三月末までをお願いします。

5. 特別寄附のお願い

法要を機会に、不足している左記の仏具等を調製したいと願っております。門・信徒の皆様から、今回の法要を記念して特別の御墾志を賜りますならば、誠に有り難く存じます。

・内敷（蓮如上人御影前）（うちしき） 約四十六万円

・数衣香炉箱（すえこうろぼこ） 約四十二万円

・夷形香盤（えびすがたこうばん） 約十八万円

・角形香炉（かくがたこうろ） 約二十万円

・月形仏器台（つきがたぶつきだい） 約三十五万円

6. 稚児募集

皆様の御家族、御親戚、御近所、お知り合いのお子様（小学六年生くらいまで）に稚児行列への御参加のお声かけをお願いいたします。稚児行列は法要に華を添えるものであり、是非ご協力をお願いいたします。

7. お願い

景気低迷の御時世の中で、このようなお願いをさせていただくのは大変心苦しく存じますが、法要厳修の願いをお汲み取りいただきまして、どうか、御墾念を賜りますようお願い申し上げます。



法要記念演奏は
マリンバの平岡愛子氏

平成13年度護持費の志納よろしくお願ひします

祐善寺を永代に亙って護持していただくために、護持費をお願いしておりますが、今年も次のとおりご志納下さいますようよろしくお願いいたします。

◇護持費の使途

- ・報恩講の厳修費や本山奉仕団補助等、教化事業の実施
- ・本堂を守る火災保険や環境維持費用
- ・蓮如上人五百回御遠忌準備積立
- ・本山相続講、福井教区賦課金等
- ・その他

◇年額

一戸平均 一〇、〇〇〇円

◇志納方法

- ・寺へ直接志納する
- ・秋まわりや法事で住職が貴家を訪問の際に志納する
- ・地区の役員さんに志納する
- ・郵便振替口座

（〇〇七七〇一九一三〇七二一）

・加入者（祐善寺）

◇志納期限

毎年十一月末日

へ振り込む

おくやみ

松島利雄様（朝日町森）には、三月六日、行年七十九歳にて往生の素懐を遂げられました。

御生前中の御功勞に、心より深謝申し上げます。



上野彦治様（朝日町新庄）には、五月三日、行年八十九歳にて往生の素懐を遂げられました。

御生前中の御功勞に、心より深謝申し上げます。



野村キク様（朝日町小倉）には、七月十七日、行年九十一歳にて往生の素懐を遂げられました。

御生前中の御功勞に、心より深謝申し上げます。



感謝！ 奉仕作業

大雪の中、雪降ろし作業！

今年の冬は、久々振りの大雪に見舞われましたが、大雪の中、万全を期して朝日町内のご門徒さんに、雪降ろし作業をお願いしました。

ご門徒さんの中には、ご自分の家の雪を降ろす前に、お寺の雪降ろしに駆けつけて下さった方も、いらっしやいました。本当に有り難いこととござい



大雪から寺を護る雪降ろし作業！

ます。

寺に住む者にとって、ご自分の家の雪を降ろさない前に寺の雪降ろしに来ていただくことは、とても心苦しいものです。寺を責任をもって預かっている私共寺族は、大雪の害から寺を護るために、どうしてもご門徒さんの尊いお力をお借りする以外にないのです。大雪の中、雪降ろしにご協力いただいた皆さん、本当に有り難うございました。とても、嬉しくございました。

雪害の後始末作業！

今冬の大雪は、樹木等にも被害が出ました。当寺の周りに立っている樹木等も例外ではありませんでした。雪解けを待つて、大雪で被害を受けた竹や庭木等の整理のため、寺近辺に在住の役員さんで作業奉仕が行われました。

お陰様で、寺裏山の竹藪もきれいに整理していただきました。ご協力頂きました役員の方々の皆さん、ありがとうございました。



30度を超える炎天下での草刈り作業はシンドイ！

炎天下での草刈り奉仕！

毎年、梅雨明けしてすぐに、寺周辺の草刈奉仕作業が、朝日町在住のご門徒さんによって交代で行われます。

今年の草刈奉仕作業は、七月二十日の海の日、三十度を越える炎天下で行われました。ご協力頂いたご門徒さんは、天谷区（三名）、新庄区（七名）の十名の皆さんで、草刈機や鎌を使って寺周辺の傾斜の急な土手を中心に、きれいに草刈りをしていただきました。

まさに炎天下での草刈作業ですから、しずくとなつて落ちる汗を拭おうともせずに、皆さん一生懸命に草刈りに取り組んでいただきました。このようなエネルギーこそ、寺を護持・発展していただく原動力になるに違いないと、いつも感謝しているものです。本当に暑い中で作業して頂きました皆さん、心から御礼申し上げます。

投稿のお願い

この『祐善寺だより』の発刊を支えて下さるのは、皆様からの投稿やご協力が不可欠です。

どうか、日頃感じられている「宗教」の話や、社会の出来事についての感想、生活で感じられていること、本山や祐善寺に対してのご意見など、どのようなことでも結構です。ととどしご投稿下さいますようお願いいたします。

第5回

正信偈講座

- 天親菩薩造論説
- 帰命無碍光如来
- 依修多羅頭真実
- 光闡横超大誓願
- 広由本願力回向
- 為度群生彰一心
- 帰入功德大宝海
- 必獲入大会衆数
- 得至蓮華蔵世界
- 即証真如法性身
- 遊煩惱林現神通
- 入生死園示応化
- 本師曇鸞梁天子
- 常向鸞処菩薩礼
- 三蔵流支授浄教
- 焚焼仙経帰楽邦

天親菩薩は「浄土論」を著して

限りなく光を放つ阿弥陀さまに帰依します、と述べました。

そして、『大無量寿経』によって真実をあきらかにして、

信心によって、たちどころに救われる大誓願を示しました。

広く本願力をめぐらすことによって

生きとし生けるものを救うため、一心である信心を彰わされ

ました。

阿弥陀さまの功德にみちた宝の海に立ち戻れば

必ず、この世において、浄土の聖者の仲間に入ることができ

阿弥陀さまの浄土に生まれることができます。

そして、ただちに佛さまとなることができのです。

その後は、この世（迷いの世界）において神通力をあらわし

この世の迷える人々を救う、と説いています。

梁の武帝は、曇鸞大師をおおぎ

つねに曇鸞大師のところに向かって礼拝していました。

大師は菩提流支に、浄土の教典を授けられました。そして、

それまで学んでいた道教の教典を焼き払い、浄土教の教えに

帰依しました。

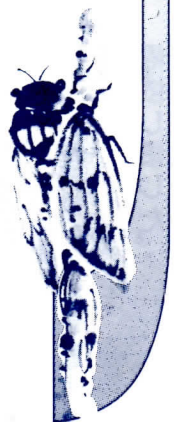
去る五月十一日付けの福井新聞に、またあきれた記事が掲載されていた。見出しは「大谷派独立の東京本願寺『東本願寺』に名称変更」というものである。皆さんもこの記事を読まれた方も多いと思う。またまた、我が宗門での不祥事である。

一九七九年に前門主の長男・大谷光紹が大谷派から離脱して東京浅草別院を乗っ取り、東本願寺派東京本願寺としてから約二十年、我が宗門も紛争がくすぶり続けてきたが、こへ来てまた、不祥事が勃発である。これまで真宗大谷派本山・真宗本廟を東本願寺（お東）と呼んできたことは、紛れもなく歴史が証明しているが、この度、二十年前に大谷派から離脱した東京本願寺（自称）の連中が、『東本願寺』に名称変更を文化庁に申請して認められたという。申請を認めた文化庁も許せないが、東京離脱派の連中は、本当に何を企んでいるか分からない。また、それを許している大谷派の幹部連中の責任も重大である。

このような不祥事を繰り返しているから、世の中には、いかがわしい新宗教が蔓延していくのだ、ということは大谷派宗門関係者も肝に銘じておかねばならないのだ。

宗教界余話

お知らせ



永代経会

八月七日(火)

十二時 御齋

二時 勤行

二時三十分 法話

大門照忍師

四時 総墓収骨

一年に一度の永代経会です。是非、ご参詣下さいますようご案内申し上げます

ラジオ放送 『東本願寺の時間』

- ・福井放送 (FBC)
- ・毎週日曜日
- ・午前7時30分～7時40分

日曜日の朝は、FBCラジオの「東本願寺の時間」から始まります。

彼岸会

とき：9月23日 午後2時～

勤行：正信偈
法話：住職

入門 介護保険⑤

ホームヘルプサービスとは？

介護の必要な高齢者のいる家庭をホームヘルパーが訪問し、身の回りの世話等を行うことを、ホームヘルプサービス、と言います。

ホームヘルプサービスには、食事や排泄、歩行の介助や衣服の着脱等を行う身体介護型、掃除や洗濯、調理等家事を支援する家事援助型、身体介護型と家事援助型を組み合わせた複合型の3種類があります。

ホームヘルプサービスを利用するには、まず、市町村より「要支援」以上の要介護認定を受けることが必要です。そして、ケアマネジャーと相談してケアプランが作成され、サービスを提供する事業所等が決まります。

利用料は、身体介護型、家事援助型、複合型のどのタイプを選ぶかによって異なりますが、三十分以上一時間未満での自己負担額は、身体介護型で約四百円、家事援助型で約百五十円、複合型で約二百八十円となります。

編集

後記

★暑中お見舞い申し上げます。皆様、お変わりございませんか？私も今年の夏は、殊のほか暑く感じられます。

★来年は、当寺先代住職の五十回忌に当たります。蓮如上人五百回御遠忌と併せて、法要を勤めさせていただきますことになりました。皆様には、甚だご迷惑をおかけいたしますが、どうか、法要厳修の意義をご理解いただきまして、法要の円成にご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。この法要には、門信徒の皆様の総力を結集していただきたい、と念願するばかりです。

★今年の冬は、久々ぶりの大雪でしたが、寺の雪降ろしも久々ぶりにご門徒さんにお願いしました。また、雪害の後始末は、近郊の役員さんにお願いしました。また、先日は、炎天下のなかを、草刈り作業奉仕をお願いしました。本当に、尊いお力をありがとうございました。

★今年の夏は、暑いという予想です。皆様、お疲れがたまえぬよう、くれぐれも御身ご自愛下さいませよう。